



学校だより

令和7年度 11月号

令和7年10月31日発行
東京都立足立特別支援学校長
鈴木常義
〒121-0061 東京都足立区花畠 7-23-15
電話 03-3850-6066(代表)

2学期現場実習がスタートしました

職能開発科 進路指導部 青木隆吾

職能開発科では10月に入りますと、2・3年生の現場実習、1年生のインターンシップと実際の現場で「働く」経験を積む活動が本格化します。こういった現場実習で企業は生徒たちのどんなところを見ているのでしょうか？1学期の現場実習評価から考えてみました。

(コミュニケーション)

- ・相手の話をきちんと聞く
- ・相手の目を見て話す
- ・分からることはすぐに聞く
- ・返事をする
- ・挨拶をしっかりする
- ・返答に困ったとき「少し考えさせてください」と言う
- ・作業が終わったら報告し、次に何をするかを聞く
- ・周りの方と必要なコミュニケーションをとる

(態度)

- ・元気よく！意欲的に！
- ・真面目に取り組む
- ・休まない、遅刻しない
- ・会社のルールに従う
- ・素直

(仕事面)

- ・丁寧に仕事をする。
- ・指示を理解して仕事をする。

上記から何か気付くことはありませんか？「コミュニケーション」や「態度」に関することが圧倒的に多く、仕事面についてはほとんどありません。内容についてもごく基本的なもので学校生活においても様々な場面で言われていることだと思います。こういったことができると周りから「一緒に働きたい！」と思われ、気にかけてもらいやすくなります。これは就労後、本人にとってとても過ごしやすい環境となるので、長く安心して働くことができます。また、仕事の技量についても確実に伸びていきます。将来性がある「伸びしろ」をもっている人材を、企業は求めているのです。

生徒の課題はそれぞれ違いますが、学校や家庭で改善して、継続的にできていれば就労は安定します。しかし、実習だけ頑張って、学校や家庭で改善できていない場合は就労後にも同じ課題が出てきて、定着が難しくなるケースが多くあります。在学中、改善に向けて取り組みつつ、本人の特性からくるものであれば具体的な支援方法を見付けていくことも大切です。生徒本人、保護者、教員、外部支援等、連携を深めながら、一歩ずつ進路実現に向けて取り組んでいきましょう。